No.	項目	内容
(1)	名称	6,7-ジヒドロ-5-メチル-5*H*-シクロペンタピラジン
	一般的名称	6,7-Dihydro-5-methyl-5*H*-cyclopentapyrazine
	化学名	5-Methyl-6,7-dihydro-5*H*-cyclopenta(*b*)pyrazine
	CAS番号	23747-48-0
(2)	JECFA等の国際的評価機関の結果	FEXPANにより評価され1972年のGRAS 5 に公表された[1)]。 本物質は2001年　第57回JECFA会議でピラジン誘導体のグループとして評価され、推定摂取量が構造クラスⅡの摂取許容値(540μg/人/日)を下回ることなどから、香料としての使用に安全性の懸念なしと判断された[2)]。
	JECFA番号	781
(3)	外国の認可状況・使用状況	欧米をはじめ各国で認可され広く使用されている。
	FEMA GRAS番号	3306
	CoE番号	2314
	CFR21掲載	なし
	EUレジスター	FL No. 14.037
	使用量データ	34kg(米国), 32kg(EU)[2)]
(4)	我が国での添加物としての必要性	本物質は食品に存在する成分であり、様々な食品の香りを再現し、風味を向上する際に必要不可欠な物質である。本物質は現在日本では未認可であるが、その添加量は微量ながら効果は非常に大きく、様々な加工食品に対してすでに国際的には着香の目的で広く使用されている。したがって国際的整合性の面からみても、これらの物質を日本で使用できるようにすることが不可欠と考えられる。
	天然での存在	麦芽、ビール等の食品中に存在し、また、コーヒーの焙煎及び豚肉等の加熱調理により生成する成分である[3)]。
	米国での食品への使用例(平均添加率)	ソフト・キャンデー類1ppm、肉製品　0.5ppm、冷凍乳製品類 0.25ppm、チューインガム　0.15ppm、清涼飲料　0.045ppm[4)]
(5)	参考資料	1) Food Technology.(1972) Vol. 26, No. 5, pp35-42. 2) WHO Food Additives Series 48.Safety Evaluation of Certain Food Additives(2001) (Report of 57th JECFA meeting) http://www.inchem.org/documents/jecfa/jecmono/v48je12.htm 3) VCF Volatile Compounds in Food : database / Nijssen, L.M.; Ingen-Visscher, C.A. van; Donders, J.J.H. [eds]. - Version 12.2. - The Netherlands : TNO Quality of Life (website accessed in Aug. 2010)(未公表) 4) RIFM-FEMA Database, (website accessed in Aug. 2010) Material Information on 5H-5-Methyl-6,7-dihydrocyclopenta(b)pyrazine (未公表)